

はじめに

2020年10月、我が国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。以来、日本国内では加速度的に脱炭素への機運が高まり、地方自治体や地域の民間事業者に寄せられる脱炭素の取組に関する社会的要請も高度化・複雑化しております。

本冊子は、地域脱炭素に取り組もうとする地方自治体の皆様に向けて、令和4年度に活用できる国や北海道の支援施策等を1冊にまとめたものです。ゼロカーボン北海道タスクフォース・地方支分部局レベル会合を構成する7つの地方支分部局に北海道を加え、各機関の支援施策等を掲載しております。

本冊子は地方自治体に御活用いただける支援施策等を中心に御紹介させていただいております。これまで、このような施策集は府省庁ごとに作成されることが一般的であったかと思いますが、縦割り感が否めず、類似した支援策の横の関連性を体系的に理解することも難解で、かつ、構成・デザインもバラバラであることから、読み手側にとって労力がかかるものとなっております。

今般策定した「ゼロ北ハンドブック」は、こうした課題の克服を目指した支援施策集であり、地方自治体の方はもちろんのこと、地方自治体と連携して地域脱炭素の取組を行おうとする民間事業者の方にも参考になるものと思われまますので御活用いただければ幸いです。

本ハンドブックの策定コンセプトとして、支援施策等を御活用いただく方の視点に立って、府省庁の縦割り感を極力なくして実施したいことから検索できるよう、またそれぞれの比較ができるよう、趣向を凝らしたつもりです。しかしながら、第1版でございますので、至らない点がございましたら、温かく御容赦いただけますと幸いです。

もし何か改善点等の提案がございましたら、本冊子の巻末に掲載の御連絡先まで、御意見いただければと思います。今後も改訂版を発刊していく予定ですので、その際の参考にさせていただきます。

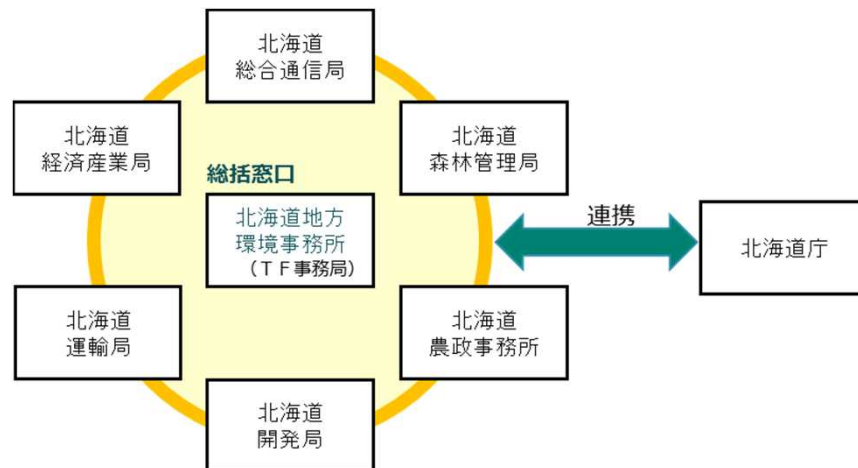
「地域活性化をカーボンニュートラルで」、この1冊が2050年カーボンニュートラルへ歩む皆様の一助となりましたら、嬉しく思います。

令和4年4月
ゼロカーボン北海道タスクフォース
地方支分部局レベル会合

●ゼロカーボン北海道タスクフォースとは...

「地域脱炭素ロードマップ」（令和3年6月9日国・地方脱炭素実現会議決定）では、地域における取組の実施体制として地方支分部局が水平連携し、機動的に支援することの必要性が言及されています。

「ゼロカーボン北海道タスクフォース」は、こうした要請を受け令和3年8月4日に設置されたものであり、その地域組織である「ゼロカーボン北海道タスクフォース・地方支分部局レベル会合」は、北海道総合通信局、北海道農政事務所、北海道森林管理局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道地方環境事務所（TF事務局）で構成され、オブザーバーとして北海道が参画しています。



本タスクフォースの地方支分部局レベル会合は、北海道地域における脱炭素の取組に関して、地方支分部局が連携し、各地域の強み・課題・ニーズを丁寧に吸い上げ、地域を機動的に支援する役割を果たすことが求められています。これまで、次年度の予算に関する説明会を連携して実施する取組や地域の市町村の相談窓口である「ゼロ北テラス」の設置等を行ってきました。今回策定した「ゼロ北ハンドブック」も、こうした支援策の1つになります。

今後も、継続的な会合を重ね、地域脱炭素に資する取組の検討を進めてまいります。

●ゼロカーボン北海道とは...

近年、世界各地で異常気象による災害が発生し、道内においても激しい雨が降る頻度が増加するなど、気候変動の影響が顕在化しています。

国内外では、温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡をめざす「脱炭素化」の動きが加速しており、道としても、気候変動問題に長期的な視点で取り組むため、2020年3月、「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす」ことを表明しました。

北海道が有する豊かな自然や地域資源を利用した再生可能エネルギーと広大な森林などの吸収源の最大限の活用により、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進めます。

道民一人ひとりが意識を変え、自ら責任を持って行動することにより、2050年までに、温室効果ガス排出量と森林等による吸収量のバランスが取れ、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける北の大地「ゼロカーボン北海道」を実現します。

● 本ハンドブックの使い方

- 本ハンドブックは、第1部と第2部の2部構成となっています
- 第1部は、実施したい内容から各機関の支援施策等を探し出すための構成となっております。

「公共施設に太陽光パネルを設置したい…」
「まずはどれくらい可能性があるのか知りたい…」

目次から該当のページへ

目次	
第1部 実施したい内容から施策を探す	… 8
1 脱炭素に関する計画を策定したい!	… 9
2 様々な施策を組み合わせて、地域脱炭素を実現したい!	… 10
3 再生可能エネルギー種別ごとに使えるものを検討したい!	… 11
3-1 太陽光	→ 11
3-2 風力	→ 12
3-3 バイオマス	→ 13
3-4 地熱・地中熱・温泉熱	→ 13
3-5 水力・小水力	→ 14
3-6 コージェネレーションシステム	→ 14

3 再生可能エネルギー種別ごとに使えるものを検討したい!

※様々な再生可能エネルギー導入に使える、2や7も参照ください。

- 3-1 太陽光
 - 公共施設・公有地のポテンシャルを知りたい → 11
 - 「営農型太陽光発電」を実施したい → 13
- 3-2 風力 → 12
- 3-3 バイオマス
 - 未利用バイオマスを活用したい → 13
 - 畜産バイオマスプラントを導入したい → 14
 - バイオ液肥を利用したい → 14

※木質バイオマスは、2や7を御参照ください。

この事業がよさそう!

- 第2部は、支援施策の紹介ページとなっております。第1部で探した番号の施策のページを参照いただければと思います。

この事業のページへ

すべての機関の補助事業が同一フォーマットなので比較がしやすい!

3 再生可能エネルギー種別ごとに使えるものを検討したい!

※様々な再生可能エネルギー導入に使える、2や7も参照ください。

- 3-1 太陽光
 - 公共施設・公有地のポテンシャルを知りたい → 11
 - 「営農型太陽光発電」を実施したい → 13
- 3-2 風力 → 12
- 3-3 バイオマス
 - 未利用バイオマスを活用したい → 13
 - 畜産バイオマスプラントを導入したい → 14
 - バイオ液肥を利用したい → 14

※木質バイオマスは、2や7を御参照ください。

11

11 公共施設・公有地のポテンシャルを知りたい

※様々な再生可能エネルギー導入に使える、2や7も参照ください。

12 浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業

※様々な再生可能エネルギー導入に使える、2や7も参照ください。

- おわりに、市町村からのよろず相談窓口「ゼロ北テラス」と本年4月から運用を開始いたします「ゼロ北メーリス」の御紹介を載せています。ぜひ御照覧ください。
- 本ガイドブックに関する御意見やお問合せ先を最終ページに記載しております。ぜひ御意見・御感想をお寄せください。